

新規バイオマーカーの臨床的有用性の検討

1. 研究の対象

京都大学医学部附属病院 脳神経内科にて過去に採取された保存検体を用いた将来の研究への二次利用に同意されている方のうち、当研究への参加を拒否されなかった方を対象とした研究です。

2. 研究目的・方法

新規血清マーカーの臨床的有用性の検討のため、血清を用いて新規血清マーカーの濃度を測定し、既存のバイオマーカーの測定値との関係を解析します。研究に用いる試料や情報は、始めに血清を採取した医療機関において匿名化されます。当社は、匿名化された試料・情報の提供を受け、新規血清マーカーの検査を行います。

研究期間は2019年9月までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血清

情報：検体ID

4. 試料・情報の安全管理

当社が扱う試料と情報は、始めに血清を採取した医療機関において匿名化されたものです。符号と研究対象者を照合できる対応表は、各医療機関で厳重に保管され、当社が研究対象者を特定することはありません。試料と情報は、各施設の研究責任者が管理します。

5. 研究組織

京都大学大学院医学研究科臨床神経学講座 准教授 葛谷聡
株式会社医学生物学研究所 診断薬開発ユニット 黒田慶子

以上